

対象期間
2019/7/1~2020/6/30



2020・11・6
仁淀建設有限会社
作成

エコアクション21 環境経営レポート



Photo : あしずりみさき

asizurimisaki

椿

Photo album・・・



contents

01	基本理念・環境経営方針	P1
02	組織の概要	P2
03	対象範囲	P3
04	環境管理体制と役割	P4
05	全体概要	P5
06	環境経営目標	P6
07	環境経営計画	P7～P8
08	環境経営目標の実績・総合評価	P9～P10
09	環境取組計画の取組結果とその評価、今後の取り組み内容	P11～P20
10	次年度環境経営目標	P21
11	次年度環境経営計画	P22～P23
12	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	P24
13	代表者による全体評価と見直し・指示	P25
特集	環境活動の取組	P26～P31

基本理念

私たち仁淀建設は、豊かな地球環境を未来の世代に引き継ぐために、社会インフラとしての土木工作物の提供を通じ、環境負荷の低減を意識し、自然との調和を図り、地球環境保全活動に積極的かつ継続的に取り組みます。社員一人ひとりが地球環境を守り、安全・安心で快適な地域社会づくりと「持続可能な社会」の実現に貢献するとともに、効率的な事業を行うための技術力向上とイノベーション創出を目指します。

環境経営方針

1. 次の事項に取り組みます

- (1) 電力・化石燃料使用量を抑制し、二酸化炭素排出量を削減します。
- (2) 資源の有効活用、廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進します。
- (3) 廃棄物排出量を削減し再資源化の拡大を図ります。
- (4) 節水を意識し、水使用量を削減します。
- (5) 建設資材・消耗品のグリーン購入を推進します。
- (6) 5Sを徹底し、社内環境改善を図ります。
- (7) 環境に配慮した工事を推進します。

3. 環境関連法規制や当社が定めた事項を遵守します。

4. 環境保全活動において地域社会との協調連携を図り、地域貢献活動を推進します。

5. 全従業員に環境経営方針・目標を周知し、意識の向上を図ります。

6. 環境経営レポートなど環境情報については、広く外部に公表します。



仁淀建設株式会社
代表取締役 **永野 秋夫**

平成29年8月3日 作成
令和1年10月7日 改訂

組織の概要

■事業所名及び代表者名

仁淀建設有限会社 代表取締役 永野 秋夫

■所在地

本社 〒787-0315 高知県土佐清水市足摺岬902番地

■環境管理責任者・担当者名・連絡先

・環境管理責任者 永野 和也
・担当者 永野 友香

・連絡先 TEL 0880-88-0781

FAX 0880-88-0076

E-mail nydks@mocha.ocn.ne.jp

■事業活動

＜建設業＞ 事業内容（道路改良・河川工事を含む土木
土木工事業 とび・土工工事業 石工事業 鋼構造物工事業
舗装工事業 しゅんせつ工事業 造園工事業 水道施設工事業
建築工事業 管工事業

※建設業許可

高知県知事 許可（特-29）第1181号
平成29年4月12日から令和4年4月11日まで
土木工事業 とび・土工工事業 石工事業 鋼構造物工事業
舗装工事業 しゅんせつ工事業 塗装工事業
造園工事業 水道施設工事業 解体工事業

高知県知事 許可（般-29）第1181号
平成29年4月12日から令和4年4月11日
建築工事業 左官工事業 管工事業
タイル・レンガ・ブロック工事業

■事業規模

法人設立年月日 昭和24年12月
資本金 2,000万円
売上高 80百万円（令和1年度）
従業員数 9人

区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和1年度
売上高	百万円	111	128	81
従業員数	人	9	9	9
床面積（事務所）	m ²	72	72	72
床面積（倉庫）	m ²	112	112	112
資材置場面積	m ²	2500	2500	2500



■環境年度（会計年度） 7月 ～ 6月

対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

■対象事業所

仁淀建設有限会社

本社 〒787-0315 高知県土佐清水市足摺岬902番地

■対象事業活動

事業内容（道路改良・河川工事を含む土木

<建設業>

土木工事業 とび・土工工事業 石工事業 鋼構造物工事業

舗装工事業 しゅんせつ工事業 造園工事業 水道施設工事業

建築工事業 管工事業

■環境経営レポート対象期間

令和1年7月1日～令和2年6月30日

■環境経営レポート発行日

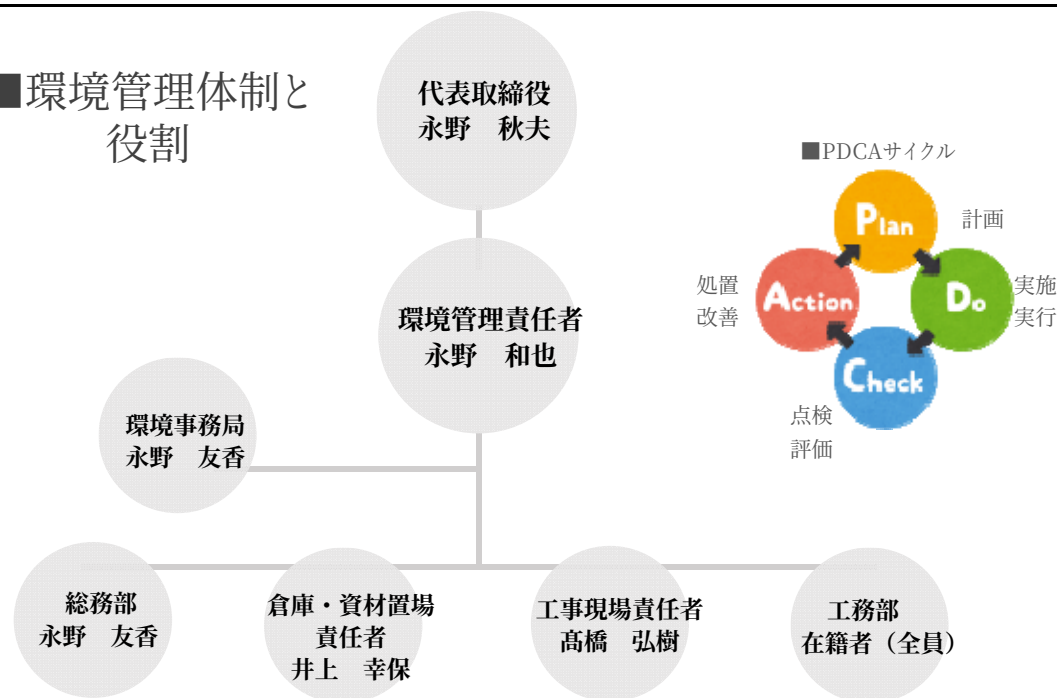
令和2年11月6日

■次回環境経営レポート発行予定日

令和3年11月頃



■環境管理体制と役割



●代表取締役

- ・環境経営に関する統括責任者
- ・環境経営の実施及び管理に必要な経営資源（人・物・資金）の準備
- ・環境管理責任者の任命
- ・環境経営方針の設定・見直し・評価及び従業員への伝達
- ・環境経営目標、環境経営計画の承認
- ・環境経営レポートの承認

●環境管理責任者

- ・環境関連法規制などの取りまとめ、遵守状況の確認
- ・環境経営システムの構築・実施・管理の継続的改善
- ・環境経営システムの運用、活動状況を代表者へ報告
- ・環境経営目標の設定、環境経営計画、実施体制の確認
- ・環境経営の取組状況の確認、環境経営目標の達成状況の評価
- ・問題点の是正及び予防処置の承認、緊急事態の想定と対応策の承認
- ・環境経営レポートの確認

●事務局

- ・環境管理責任者の補佐
- ・環境関連文書、記録の管理
- ・環境経営レポートの作成、公開
- ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口

●工事現場責任者

- ・現場での環境経営の推進
- ・現場における環境経営方針の周知
- ・現場の従業員に対する教育訓練の実施
- ・現場の環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告
- ・現場での緊急事態への対応、手順書作成・テスト・訓練・記録
- ・現場の問題点の発見・是正・予防処置

●全従業員

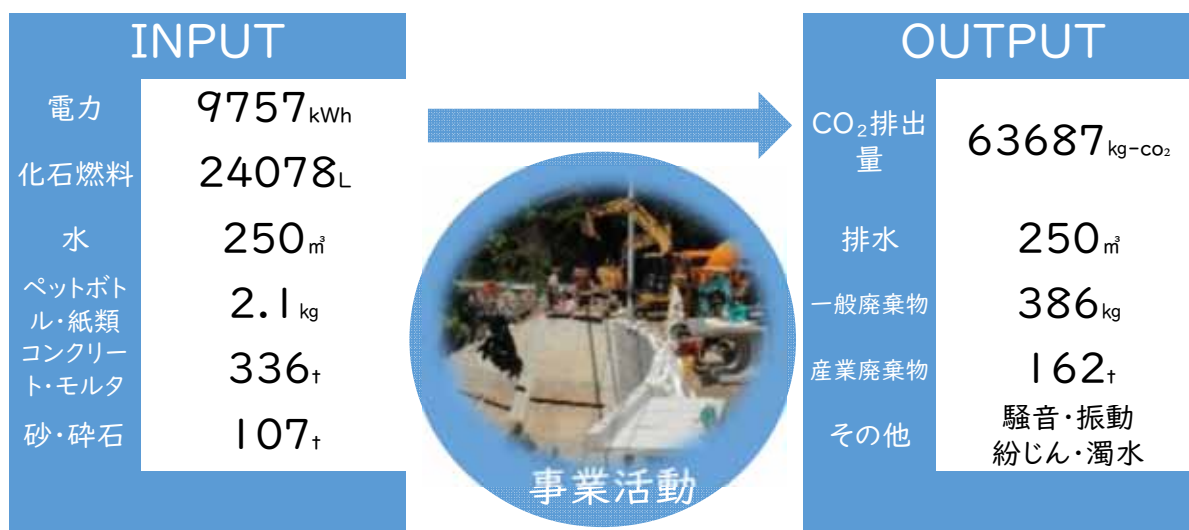
- ・環境経営方針を理解し、自らの役割を自覚して環境経営目標へ取り組む
- ・環境経営目標（一般・産業廃棄物の分別、省電力、エコドライブ等）の実施
- ・環境経営への積極的な参加

環境経営への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境への負荷の自己チェックを行い、環境目標の達成状況を評価し、改善に努めています。

- ・電力使用量 個々の節電意識も高くなり、クールビズ・ウオームビズも浸透してきているが、今年度は目標達成することが出来なかった。
- ・化石燃料使用量 安全運転・エコドライブの心掛けでの事故防止、重機のエコモード運転の意識向上等に努めたが、目標達成できなかった。要因は遠方現場への移動や感染症対策のため、乗り合わせを控えたことによる社用車使用台数像、ガソリン使用量増が影響していると考えます。
- ・水使用量 昨年度同様、食器のため洗いの実施、吐水量調整、こまめな止水、節水の啓発活動で目標達成を目指したが、コロナによるデスクワーク、洗車回数増加で水使用量も増加し、未達成。
- ・環境配慮工事 現場にお遍路さんへの休憩所の設置、トイレ貸し出し等のおもてなしを今年度も実施。環境負荷の少ない仕様（材料・構造）、工法での施工管理は優良工事として、担当現場の監理技術者である専務が表彰されました。
- ・地域貢献活動 今年度もロードボランティア10回実施。会社周辺の清掃や草刈り、足摺岬公園線の清掃活動、地域の一斉清掃への協力も積極的に行い、社会貢献に努めました。

■ マテリアルバランス



06

環境経営目標

ecoaction21 report

環境目標		単位	基準年	単年度目標	中長期目標		
			5年平均	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			H26.7～ R1.6	R1.7～ R2.6	R2.7～ R3.6	R3.7～ R4.6	R4.6～ R5.7
1 二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	77,903	77,124 (-1%)	76,345 (-2%)	75,566 (-3%)	74,787 (-4%)
(1) 電気使用量の削減		kWh	9,815	9,717 (-1%)	9,619 (-2%)	9,521 (-3%)	9,422 (-4%)
(2) ガソリン使用量の削減		L	6,057	5,996 (-1%)	5,936 (-2%)	5,875 (-3%)	5,815 (-4%)
(3) 軽油使用量の削減		L	22,556	22,330 (-1%)	22,105 (-2%)	21,879 (-3%)	21,654 (-4%)
(4) 灯油使用量の削減		L	268	265 (-1%)	263 (-2%)	260 (-3%)	257 (-4%)
2 廃 棄 物 の 減 量 化	(1) 一般廃棄物排出量	kg	453	448 (-1%)	444 (-2%)	439 (-3%)	435 (-4%)
	(2) 産業廃棄物排出量	t	413	409 (-1%)	405 (-2%)	401 (-3%)	396 (-4%)
	(3) 産業廃棄物再資源化率	%	100	100	100	100	100
3 水使用量の削減		m ³	238	236 (-1%)	233 (-2%)	231 (-3%)	228 (-4%)
4 グリーン購入の推進		%	55	60	65	70	75
5 地域貢献活動の推進		清掃活動 実施回数	10	10	10	10	10
6 環境配慮工事の推進		件数	全件	全件	全件	全件	全件

※1.二酸化炭素排出係数(四国電力2019年) 0.408kg-CO₂/kWh
 ※2.グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額の割合で評価
 ※3.環境配慮工事
 ・環境負荷の少ない仕様(材料、構造)及び工法を採用する
 ・建設機械等は低騒音・低振動・排ガス対策型機種を選定する
 ・型枠、工事看板への間伐材の使用
 ・すべての人が安心して親しみの持てる公共工事の実施
 ※4.各年度の対象期間は決算年度7月～翌年6月
 ※5.基準年度は5年平均(H26年度～H30年度)とする



事務所

担当 永野 和也
永野 友香

① 電気使用量の削減

- ・パソコン、OA機器を省電力化設定にする
- ・昼休み、使用時以外の照明消灯
- ・空調の適温化（夏28℃冬20℃）、扇風機の併用
- ・クールビズ・ウォームビズの徹底
- ・空調機器のフィルター、照明器具の定期清掃
- ・設備エア漏れ点検と修理
- ・LED・省エネ灯変更検討と推進

② 化石燃料使用量の削減（ガソリン・軽油・灯油）

- ・タイヤの空気圧の確認、車輛管理（オイル交換）
- ・アイドリングストップとエコドライブの徹底
- ・急発進・急加速・急ブレーキをしない安全運転の励行
- ・夏場のエアコン使用を控える
- ・冬季重ね着工夫の励行、作業環境改善

③ 一般廃棄物排出量の削減

- ・文書類の電子化
- ・裏紙利用の徹底と印刷時のプレビュー機能利用の周知
- ★コピー用紙の使い分けの徹底
- ・ゴミ分別リサイクルの励行

④ 水使用量の削減

- ・水を出しすぎないように吐水量を少なくして使う
- ・水は出しっぱなしにせず、こまめに止める
- ・食器はため洗いし、洗剤も使いすぎない
- ・トイレは大小洗浄の切り替えをきちんと使い分ける

⑤ グリーン購入の推進

- ・エコマーク等、環境に配慮した製品の積極的購入
- ・エコ商品への代替調査（比較検討）

⑥ 地域貢献活動の推進

- ・足摺岬公園線の清掃活動（遊歩道清掃、瓶・カン拾い）
- ・会社周辺の清掃（除草、清掃）
- ・地域ボランティア活動への参加

備考：★印は今年度追加活動です



現場

担当 永野 和也
高橋 弘樹

① 化石燃料使用量の削減（ガソリン・軽油・灯油）

- ・タイヤの空気圧の確認、車輛管理（オイル交換）
- ・アイドリングストップとエコドライブの徹底
- ・急発進・急加速・急ブレーキをしない安全運転の励行
- ・夏場のエアコン使用を控える
- ・重機の定期点検整備の徹底
- ・過積載の防止、車輛の中に不要な荷物は積まない
- ・冬季重ね着工夫の励行、作業環境改善

★ 社用車使用時の乗り合わせの励行

★ 移動ルートの効率化

★ 重機のエコモード運転

② 産業廃棄物排出量の削減

- ・マニフェストの管理、保管、適正処理の確認
- ・分別解体の徹底による再生資源化
- ・工事資材のロスをなくす

③ 水使用量の削減

- ・節水の周知徹底と啓発活動（ポスター作成・貼付）
- ・漏水の定期点検

④ 地域貢献活動の推進

- ・足摺岬公園線の清掃活動（遊歩道清掃、瓶・カン拾い）
- ・会社周辺の清掃（除草、清掃）
- ・地域ボランティア活動への参加

⑤ 環境配慮工事の推進

- ・工事施工場所の周辺環境の状況把握
- ・環境負荷の少ない仕様（材料・構造・工法）を採用する
- ・建設機械等は低騒音・低振動・排ガス対策型機種を選定する
- ・型枠・工事看板への間伐材の使用
- ・すべての人が安心して親しみの持てる公共工事の実施

備考：★印は今年度追加活動です



08

環境経営目標の実績

ecoaction21 report

環境目標		単位	基準年	令和1年度		達成率	点数
			5年平均	(7月～6月)			
			H26.7～ R1.6	目標	実績	(%)	評価
1 二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	77,903	77,124 (-1%)	63,687	121%	2点 ○
(1) 電気使用量の削減		kWh	9,815	9,717 (-1%)	9,757	99%	1点 △
(2) ガソリン使用量の削減		L	6,057	5,996 (-1%)	9,205	65%	0点 ×
(3) 軽油使用量の削減		L	22,556	22,330 (-1%)	14,633	153%	2点 ○
(4) 灯油使用量の削減		L	268	265 (-1%)	240	110%	2点 ○
2 廃 棄 物 の 減 量 化	(1) 一般廃棄物排出量	kg	453	448 (-1%)	386	116%	2点 ○
	(2) 産業廃棄物排出量	t	413	409 (-1%)	162	252%	2点 ○
	(3) 産業廃棄物再資源化率	%	100	100	100	100%	2点 ○
3 水使用量の削減		m ³	238	236 (-1%)	250	94%	1点 △
4 グリーン購入の推進		%	55	60	60	100%	2点 ○
5 地域貢献活動の推進		清掃活動 実施回数	10	10	10	100%	2点 ○
6 環境配慮工事の推進		件数	全件	全件	全件	100%	2点 ○

※1.二酸化炭素排出係数(四国電力2019年) 0.408kg-CO₂/kWh

※2.グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額の割合で評価

※3.環境配慮工事

- ・環境負荷の少ない仕様(材料、構造)及び工法を採用する
- ・建設機械等は低騒音・低振動・排ガス対策型機種を選定する
- ・型枠、工事看板への間伐材の使用
- ・すべての人が安心して親しみの持てる公共工事の実施

※4.各年度の対象期間は決算年度7月～翌年6月

※5.基準年度は5年平均(H26年度～H30年度)とする

※6.達成率=目標/実績×100%、目標比率=実績/目標×100%

※7.評価:○達成2点(100%～)、△不十分1点(90%～100%)、

×未達成0点(～90%)

★総合計が合計の80%以上で合格

《総合評価》

・達成率 83%

・合計点数 20点

合格😊



総合評価

取組内容		評価（結果と今後の方向）
1.	二酸化炭素の排出量の削減	目標達成率121%で排出量を削減することができた。達成の要因は重機のエコモード運転やムダのない動作での燃費効率向上で軽油使用量を抑えることができたことだと思います。次年度も各項目の使用量を削減し二酸化炭素の排出量削減に繋げる。
2.	電力使用量の削減	昼休みのこまめな消灯、空調の適温化（設定温度：夏28℃・冬20℃）等、個々の心掛けはできていたが、閑散期が多く、事務所でのデスクワークが増えたことで、電気使用量も増え、目標達成率99%となった。次年度は目標達成したい。
3.	ガソリン使用量の削減	今年度の現場は遠方がほとんどで、長距離移動と社用車使用台数増加によりガソリン使用量も増加。目標達成率も65%でした。エコドライブによる低燃費運転の意識付けはできているので、更に意識向上を心掛け、次年度は目標達成したい。
4.	軽油使用量の削減	重機のエコモード運転、アイドリング防止の徹底等を心掛け、目標達成。達成率は153%。前年度より工事件数が減ったことも影響していると考えられるが、社員の日々の努力が蓄積した結果だと評価できる。今後も燃費効率の向上に努めます。
5.	灯油使用量の削減	目標達成率110%で削減成功。建設現場においては年間通して使用は無かった。サーキュレーターを活用し空気を循環することで暖房効率が上がりました。今後は、灯油暖房器具と電気暖房器具の使い分けをこまめに行っていきたい。
6.	一般廃棄物排出量の削減	段ボール・ペットボトル・缶など積極的にリサイクル推進、目標達成率116%で排出量減少にも繋がった。次年度も継続してリサイクル推進、個人ゴミの持込禁止やごみの分別徹底を行い、マイバック・マイボトルの周知もしていきたい。
7.	産業廃棄物排出量の削減	目標達成率252%で達成。工事内容にも影響されていると思うが、毎日の選別強化の呼びかけや定期的なチェックを行うなど、社員全員で排出量削減に取り組み、徹底した結果だと評価したい。
8.	産業廃棄物再資源化率	再資源化率100%で達成。今後も徹底した分別の継続、分析と見直しも行き、再資源の有効利用にも努めていきたいと思っています。
9.	水使用量の削減	日常的に節水を心掛けたが目標達成率94%で未達成。今年度は閑散期が長く、仕事内容によっては水を多く使用することもあったことが原因だと考えます。次年度は漏水確認徹底、手洗い時や洗車時の水圧調整も周知し、目標達成したいと思っています。
10.	グリーン購入の推進	グリーン商品の積極的購入で目標成。対象品をチェックして切り替え検討も定期的に行っています。グリーン購入率は毎年度達成できており、社員の意識の高まりを感じています。次年度以降もこの状況を維持継続していきます。
11.	地域貢献活動の推進	地域貢献活動は社員の中で根付いた活動となっており、ボランティアの参加も毎年計画通り達成しています。今後も地域活動に積極的に参加し、外部とのコミュニケーションを図り、豊かな社会の実現に貢献していきたいと考えています。
12.	環境配慮工事の推進	再生砕石・再生合材使用、低騒音・排出ガス対策型機種使用、型枠・工事看板への間伐材使用等環境に配慮した施工を毎工事心掛け達成。今後は施工日数を短縮する工法の検討、工事のICT推進等作業効率向上に力を入れ、社会貢献していきたい。



環境経営計画の取組結果とその評価、今後の取組内容

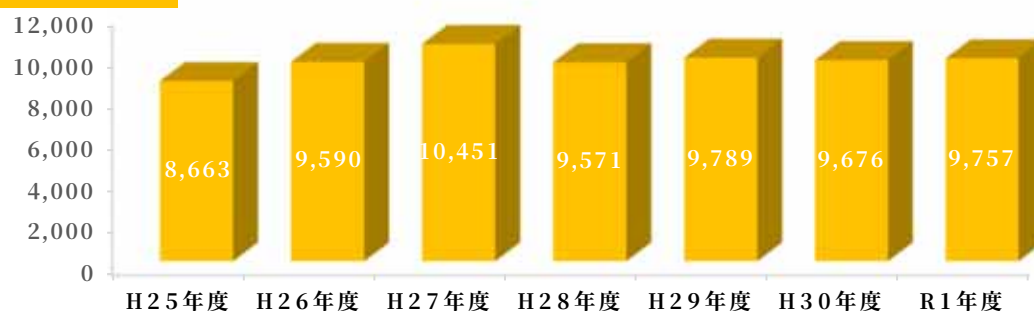
●電気使用量の削減（事務所）

達成状況

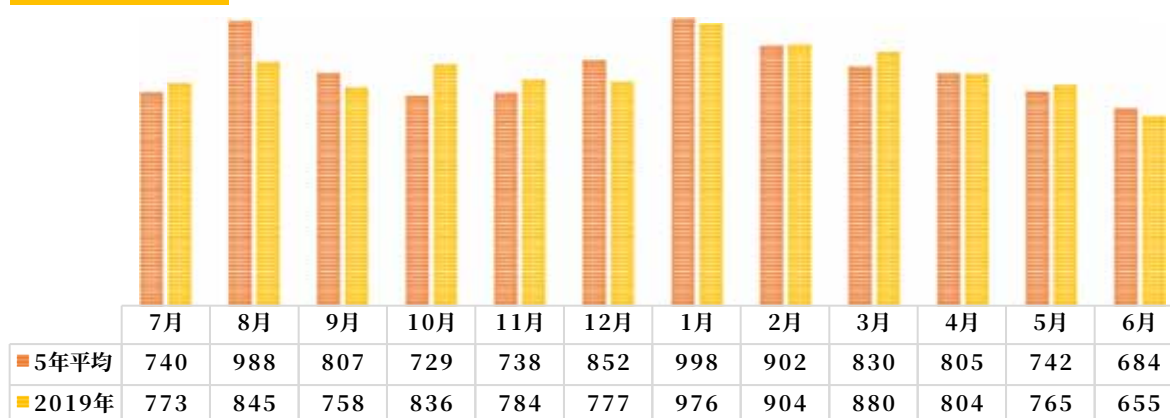
評価（結果と今後の方向）

・パソコン、OA機器を省電力化設定にする	○	省エネモードを活用。今後も継続していく。
・昼休み、使用時以外の照明消灯	○	照明をこまめに切ることを徹底しました。今後は事務所の間引き点灯も強化していきたい。
・空調の適温化（設定温度：夏28℃冬20℃）、扇風機の併用	○	設定温度遵守。サーキュレーターで暖房効率もupしました。
・クールビズ・ウォームビズの徹底	○	今後もクールビズ・ウォームビズ運動を継続して取り組みます。
・空調機器のフィルター、照明器具の定期清掃	○	実施。今後も継続していく。
・設備エア漏れ点検と修理	○	実施。今後も継続していく。
・LED・省エネ灯変更検討と推進	○	照明交換で作業環境改善。今後、事業所全体の省エネを図る。

電気使用量の推移



月別の電気使用量



●化石燃料使用量の削減（事務所）

達成状況

評価（結果と今後の方向）

・タイヤの空気圧の確認、車輛管理（オイル交換）	○	計画的に実施。今後は、燃料使用量・燃費などを見える化していきたい。
・アイドリングストップとエコドライブの徹底	○	社員全員で心掛けている。継続します。
・急発進・急加速・急ブレーキをしない安全運転の励行	○	社員全員で心掛けている。継続します。
・夏場のエアコン使用を控えめにする	○	社員全員で心掛けている。継続します。
・冬季重ね着工夫の励行、作業環境改善	○	サーキュレーターで空気を循環。継続していく。

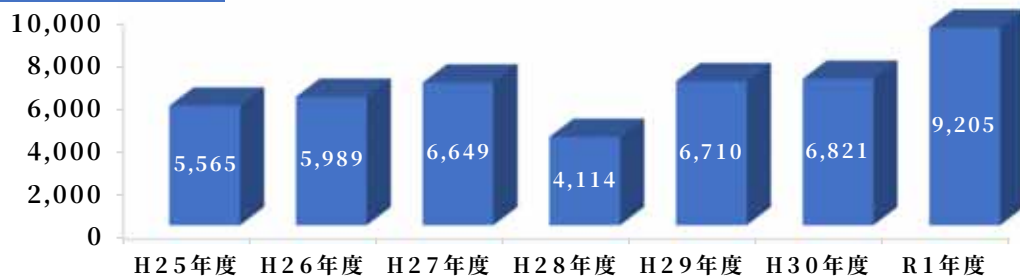
●化石燃料使用量の削減（現場）

達成状況

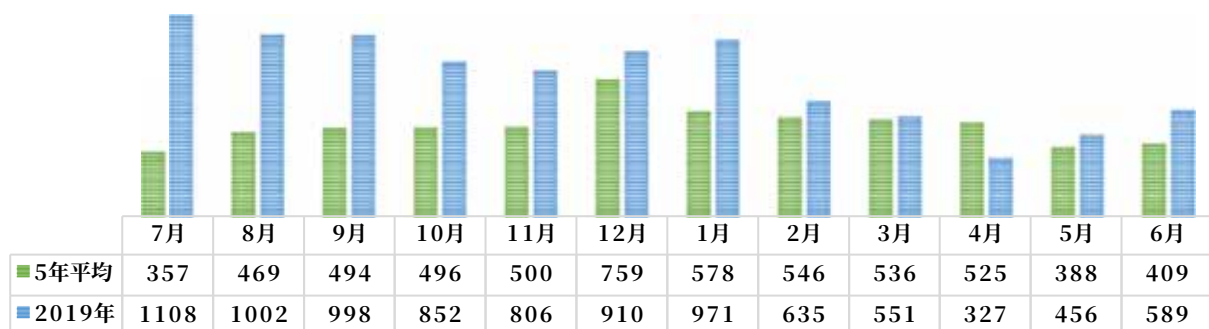
評価（結果と今後の方向）

・タイヤの空気圧の確認、車輛管理（オイル交換）	○	今後も日頃のメンテナンスを確実にやっていく。燃費チェックも行っていく。
・アイドリングストップとエコドライブの徹底	○	運転状況の見える化を行い、今後も引き続きエコ運転に努める。
・急発進・急加速・急ブレーキをしない安全運転の励行	○	ゆるやかな発進・加速、波状運転の防止、エンジンブレーキの利用を今後も継続していく。
・夏場のエアコン使用を控えめにする	○	社員全員で心掛けている。継続します。
・冬季重ね着工夫の励行、作業環境改善	○	個々に工夫している。継続していきます。
・重機の定期点検整備の徹底	○	定期整備・日常点検実施。継続する。
・過積載の防止、車輛の中に不要な荷物は積まない	○	定期的なチェックと心掛けを続けていきます。
・社用車使用時の乗り合わせの励行	○	感染予防に努めながら無理なく継続。
・移動ルートの効率化	○	移動ルートの検討・比較実施。継続していく。
・重機のエコモード運転	○	エンジン回転数を上げない取組実施。油圧リリーフの回避、効率的な空中動作で作業効率向上。

ガソリン使用量の推移



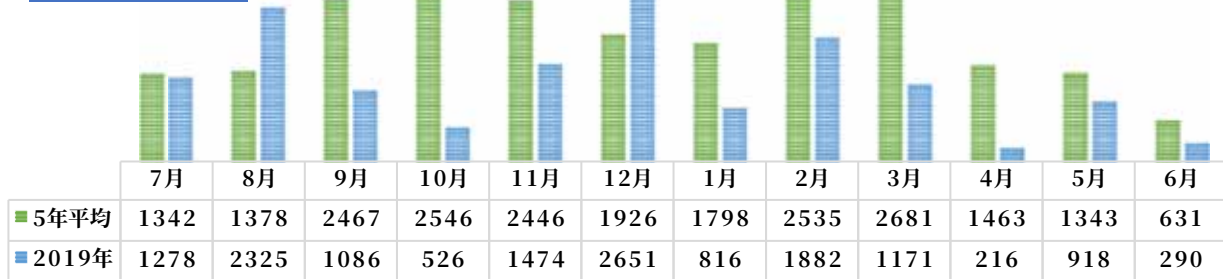
月別のガソリン使用量



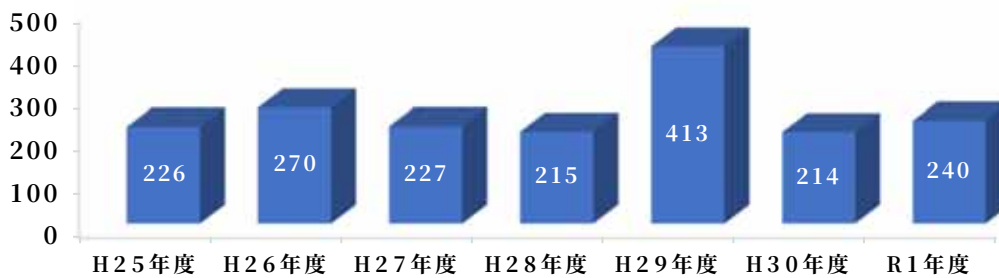
軽油使用量の推移



月別の軽油使用量



灯油使用量の推移



月別の灯油使用量



燃費向上への取組

社用車の平均的な燃費を記録し、日ごろから燃費チェックを習慣にするよう努めました。燃費を向上させるためには燃料を激しく消費する急加速や急ブレーキなどは禁物であることが分かり、燃費の向上に加え丁寧な運転も身につきます。平均的な燃費を覚えておくことで、残りの燃料での走行距離を把握でき、いつもより極端に燃費が悪くなるようであれば、故障の前兆であったり、メンテナンス時期であることや車の異常も判断できるので、今後も周知徹底していきたい。



★年間平均燃費 21.17km/L



★年間平均燃費 15.45km/L

●一般廃棄物排出量の削減（事務所）

達成状況

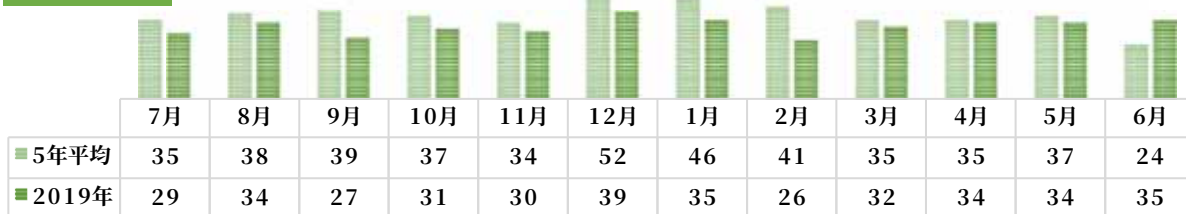
評価（結果と今後の方向）

- ・文書類の電子化 ○ タブレット、オフィスメールの有効活用を推進。今後もペーパーレス化に取り組みます。
- ・裏紙利用の徹底と印刷時のプレビュー機能利用の周知 ○ 裏面利用・両面印刷促進。継続していきます。
- ・ゴミ分別リサイクルの励行 ○ 完全実施。今後はマイバック・マイボトルの取組も進めていきたい。
- ・コピー用紙の使い分けの徹底 ○ B5用紙活用実施。今後も継続していきます。

一般廃棄物の推移



月別の排出量



●産業廃棄物排出量の削減（現場）

達成状況

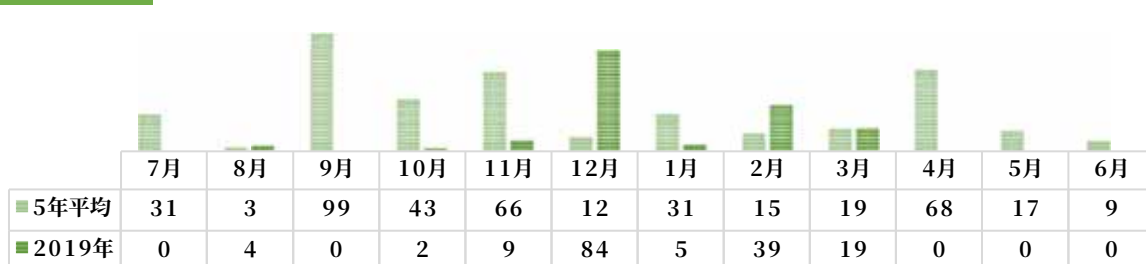
評価（結果と今後の方向）

- ・マニフェストの管理、保管、適正処理の確認 ○ 完全実施しています。継続。
- ・分別解体の徹底による再生資源化 ○ 再資源化率100%。継続していきます。
- ・工事資材のロスをなくす ○ 木材の再利用（リユース）促進。継続する。

産業廃棄物の推移



月別の排出量



●水使用量の削減（事務所・現場）

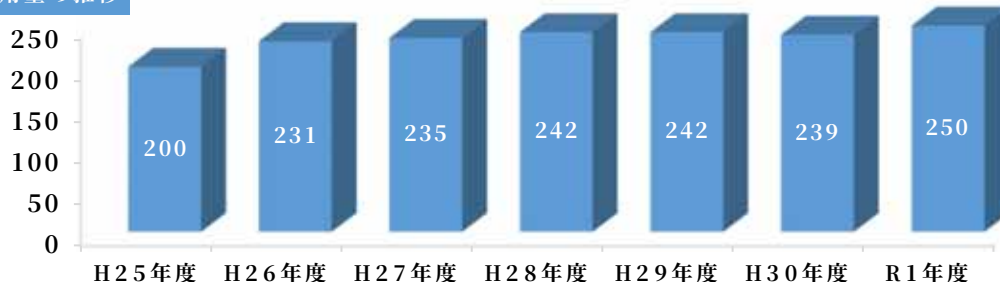
達成状況

評価（結果と今後の方向）

- ・水を出しすぎないように吐水量を少なくして使う
- ・水は出しっぱなしにせず、こまめに止める
- ・食器はため洗いし、洗剤も使いすぎない
- ・トイレは大小洗浄の切り替えをきちんと使い分ける
- ・節水の周知徹底と啓発活動（ポスター作成・貼付）
- ・漏水の定期点検

- 日常的に節水を心掛けている。継続。
- 日常的に節水を心掛けている。継続。
- 日常的に節水を心掛けている。継続。
- 日常的に節水を心掛けている。継続。
- 意識向上できている。継続。
- 定期的に実施。継続。

水使用量の推移



月別の水使用量



●グリーン購入の推進（事務所）

達成状況

評価（結果と今後の方向）

- ・エコマーク等、環境に配慮した製品の積極的購入
- ・エコ商品への代替調査（比較検討）

- 完全実施。継続する。
- 定期的に実施。継続する。



地域貢献活動の推進

スケジュール	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	ロードボランティア清掃活動	ロードボランティア清掃活動	ロードボランティア清掃活動	ロードボランティア清掃活動	ロードボランティア清掃活動	ロードボランティア清掃活動	足摺岬公園線 (冬季バトロール強化)		ロードボランティア清掃活動	地域ボランティア活動	ロードボランティア清掃活動	ロードボランティア清掃活動
実施件数	1回	1回	1回	1回	1回	1回	0回	0回	1回	1回	1回	1回
評価	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○

●足摺岬公園線の清掃活動（遊歩道清掃、瓶・カン拾い）
奉仕活動として足摺岬公園線の清掃を行っています。



●会社周辺の清掃（除草、清掃）

年間を通して会社周辺の草刈りや清掃活動を行っています。



●地域ボランティア活動への参加

地域貢献活動の一環として、市内一斉清掃に毎年参加しています。



環境配慮工事の推進

●工事施工場所の周辺環境の状況把握 ○

●環境負荷の少ない仕様（材料・構造・工法）を採用する ○



●建設機械等は低騒音・低振動・排ガス対策型機種を選定する ○



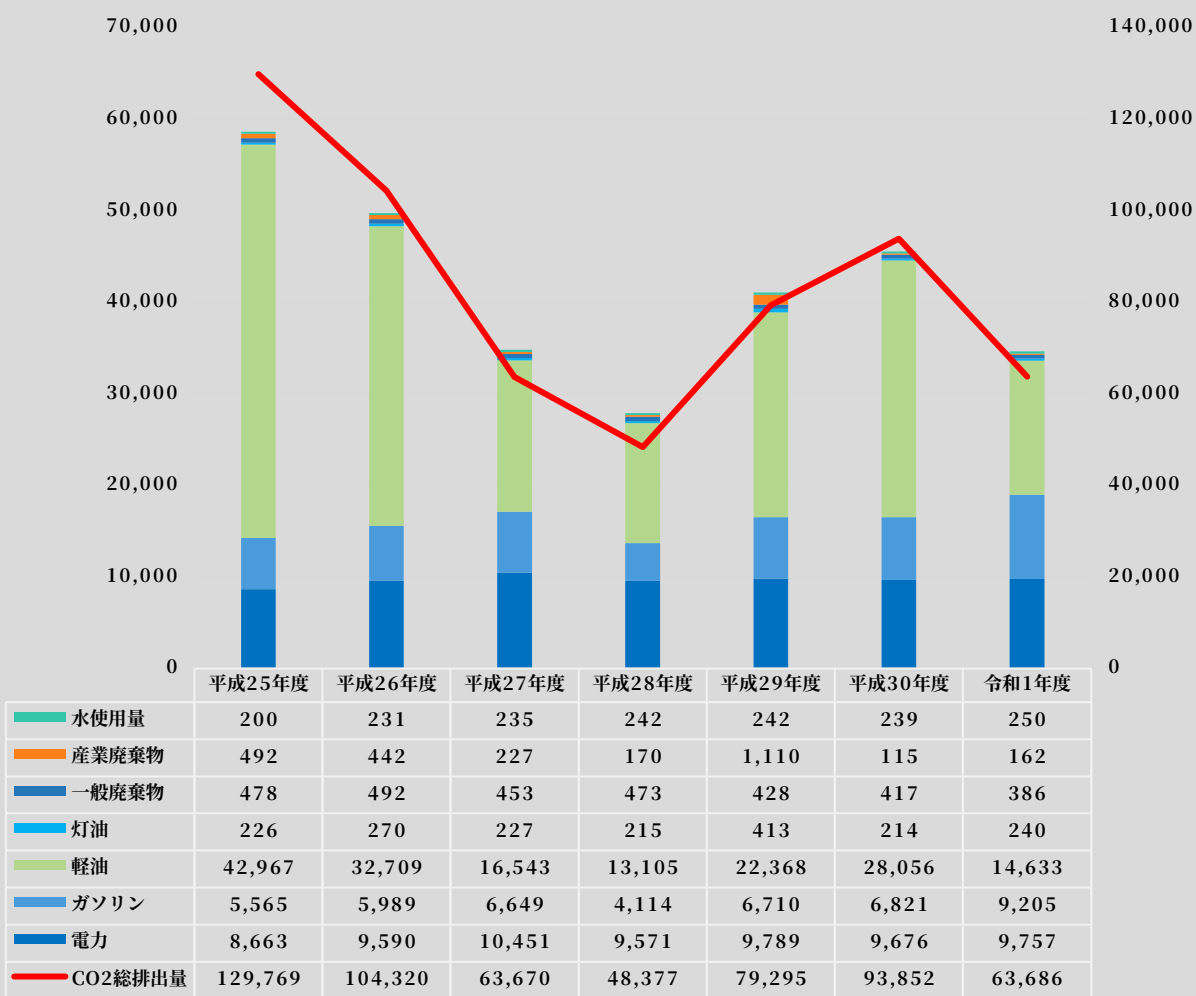
●型枠・工事看板への間伐材の使用 ○



●すべての人が安心して親しみの持てる公共工事の実施 ○

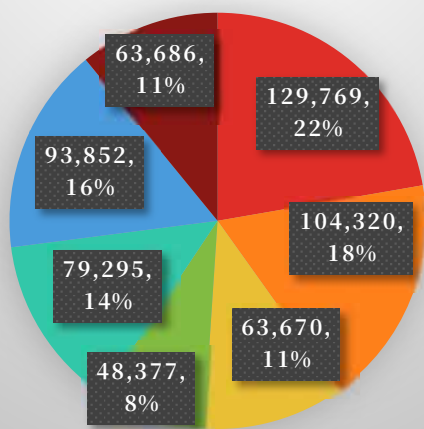


CO2総排出量の推移



CO2総排出量割合

■ 平成25年度 ■ 平成26年度 ■ 平成27年度 ■ 平成28年度
■ 平成29年度 ■ 平成30年度 ■ 令和1年度



平成25年から今年度までの7年間の主な環境負荷の変遷推移をまとめてみました。

工事件数、工事内容に比例するものが多く、軽油や産業廃棄物は特に影響を受けていて、CO₂排出量の増加にもつながっています。

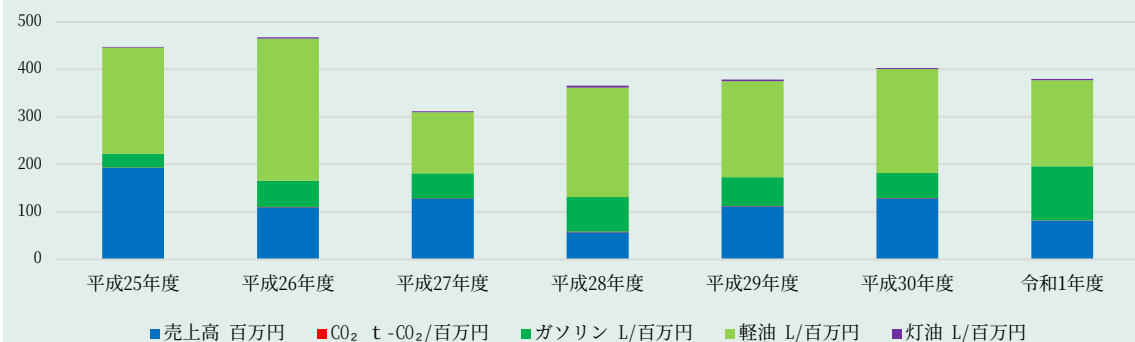
一方、工事件数や内容に影響されない一般廃棄物の排出量は、エコアクションの活動強化とともに、年々減少傾向にあります。

電気使用量、水使用量の変化は外気温（厳冬・猛暑）による影響もあるが、現場が稼働していない期間のデスクワーク、洗車回数等も使用量増加の原因になっていると考えられるため、閑散期の仕事の在り方を見直したいと思います。

昨年度よりガイドライン2017版へ移行し、新しいガイドラインに沿った無理のない内容の目標設定、計画で環境活動を行っています。まだまだ結果に繋がっていないのが現状ですが、今後も役職員一同協力し、より多くの目標達成を目指して環境活動に臨んでいきます。

売上高百万円あたりの原単位の推移

(項目)	(原単位)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
売上高	百万円	192	109	128	57	111	128	81
CO ₂	-CO ₂ /百万円	0.677	0.957	0.497	0.852	0.714	0.733	0.786
電力	kWh/百万円	45	88	82	168	88	76	121
ガソリン	L/百万円	29	55	52	73	61	53	114
軽油	L/百万円	224	300	129	231	202	219	181
灯油	L/百万円	1.2	2.5	1.8	3.8	3.7	1.7	3



カーボンプライシング

☆エネルギーコスト概算	3%削減したら
●電気 9757 (kWh) × 26.99円 = 263,341円	255,441円 (-7900)
●ガソリン 9205 (L) × 128円 = 1,178,240円	1,142,893円 (-35347)
●軽油 14633 (L) × 78円 = 1,141,374円	1,107,133円 (-34241)
●灯油 240 (L) × 108円 = 25,920円	25,142円 (-778)
合計	2,608,875円 2,530,609円 (-78266)

※電力は四国電力の2020年6月時点での1kWhあたりの料金単価(26.99円)です。
 ※ガソリン、軽油、灯油も2020年6月時点での単価で計算しています。
 ※当該年度を基準とし、CO₂排出量3%削減した場合、約8万円の節約となります。

★CO₂の1トン当たりのエネルギーコスト 40,956円

★3%削減したら 39,727円 (-1229)

※1トン当たりの値段=エネルギーコスト合計÷CO₂(63.7トン)

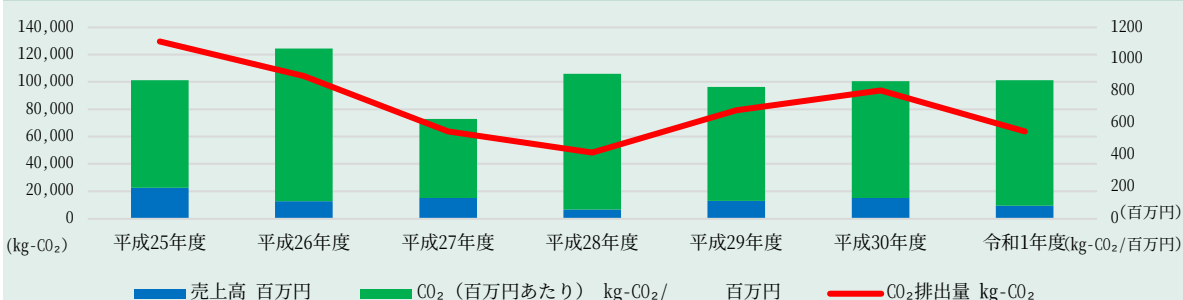
※当該年度を基準とし、CO₂排出量3%削減した場合、約1千円の節約となります。

★売上高に占めるエネルギー費用の割合 3.22%

※年間エネルギーコスト=概算:約261万円

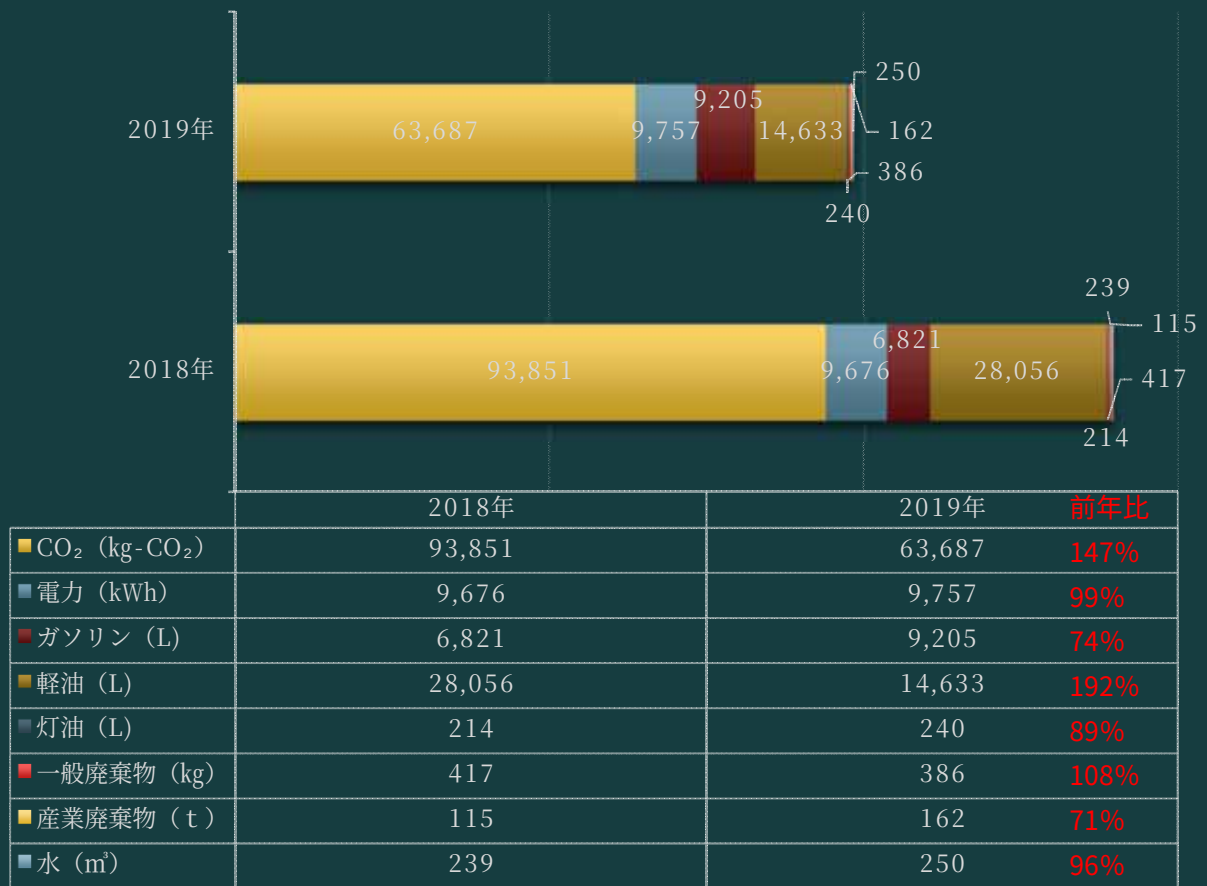
★CO₂排出量の実績推移(平成25年度～令和1年度)

(項目)	(原単位)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
売上高	百万円	192	109	128	57	111	128	81
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	129,769	104,320	63,670	48,377	79,295	93,851	63,687
CO ₂ (百万円あたり)	kg-CO ₂ /百万円	676	957	497	852	714	733	786



前 年 比

※使用量、排出量の比較です。



前年度よりCO₂排出量の削減に成功。軽油使用量の減少が一番影響していると考えます。軽油使用量は工事件数、工事内容に大きく影響されますが、重機のエコモード運転やアイドリング防止、油圧リリースの回避、ムダのない動作での燃費向上に努めた結果でもあると評価します。

電力使用量は節電意識は高くなっているが前年度より増加、閑散期間が長く、事務所の人員増、デスクワーク業務増が原因と考えます。

ガソリン使用量も前年度より増加。遠方現場への移動、社用車使用台数増が影響していると思います。エコドライブの心掛けは定着してきているので次年度も周知徹底していきます。灯油使用量増は今年度は寒い時期が長く、前年度より1か月多く灯油暖房器具を使用していることが増加原因と考えます。一般廃棄物は排出量の削減に成功。印刷時の工夫や分別徹底、リサイクル推進で意識向上。社員全員が積極的に取り組んだ結果です。次年度以降も取組継続していきます。産業廃棄物排出量は前年度より増加。リサイクル率は100%なので再生資源の有効活用と徹底した分別の継続で次年度削減できるように努めていく。

水使用量も前年度より増加。電力と同様に閑散期による人員増加と仕事内容が影響していると考えます。会社全体の節水意識は高まっているがまだまだ地道に啓蒙活動を続けていき削減に繋げていきたい。



10

次年度環境経営目標

ecoaction21 report

環境目標	単位	基準年	単年度目標	中長期目標		
		5年平均	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		H26.7～ R1.6	R2.7～ R3.6	R3.7～ R4.6	R4.6～ R5.7	R4.6～ R5.8
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	77,903	76,345 (-2%)	75,566 (-3%)	74,787 (-4%)	74,008 (-5%)
(1) 電気使用量の削減	kWh	9,815	9,619 (-2%)	9,521 (-3%)	9,422 (-4%)	9,324 (-5%)
(2) ガソリン使用量の削減	L	6,057	5,936 (-2%)	5,875 (-3%)	5,815 (-4%)	5,754 (-5%)
(3) 軽油使用量の削減	L	22,556	22,105 (-2%)	21,879 (-3%)	21,654 (-4%)	21,428 (-5%)
(4) 灯油使用量の削減	L	268	263 (-2%)	260 (-3%)	257 (-4%)	255 (-5%)
2 廃棄物の減量化	(1) 一般廃棄物排出量	kg	453 (-2%)	439 (-3%)	435 (-4%)	430 (-5%)
	(2) 産業廃棄物排出量	t	413 (-2%)	401 (-3%)	396 (-4%)	392 (-5%)
	(3) 産業廃棄物再資源化率	%	100	100	100	100
3 水使用量の削減	m ³	238	233 (-2%)	231 (-3%)	228 (-4%)	226 (-5%)
4 グリーン購入の推進	%	55	65	70	75	80
5 地域貢献活動の推進	清掃活動 実施回数	10	10	10	10	10
6 環境配慮工事の推進	件数	全件	全件	全件	全件	全件

※1.二酸化炭素排出係数(四国電力2019年) 0.408kg-CO₂/kWh
 ※2.グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額の割合で評価
 ※3.環境配慮工事
 ・環境負荷の少ない仕様(材料、構造)及び工法を採用する
 ・建設機械等は低騒音・低振動・排ガス対策型機種を選定する
 ・型枠、工事看板への間伐材の使用
 ・すべての人が安心して親しみの持てる公共工事の実施
 ※4.各年度の対象期間は決算年度7月～翌年6月
 ※5.基準年度は5年平均(H26年度～H30年度)とする



11

次年度環境経営計画

ecoaction21 report

事務所

担当 永野 和也
永野 友香

① 電気使用量の削減

- ・ パソコン、OA機器を省電力化設定にする
- ★ 夜間・休日のパソコン・コピー機の主電源停止
- ★ こまめな消灯・こまめな空調停止、LED照明の利用
- ★ 空調機器・照明器具の定期清掃と点検、修理
- ・ 空調の適温化（夏28℃・冬18℃）、扇風機の併用
- ・ クールビズ・ウォームビズの徹底

② 化石燃料使用量の削減（ガソリン・軽油・灯油）

- ・ タイヤの空気圧の確認、車輛管理（オイル交換）
- ・ アイドリングストップとエコドライブの徹底
- ・ 急発進・急加速・急ブレーキをしない安全運転の励行
- ・ 夏場のエアコン使用を控える
- ・ 冬季重ね着工夫の励行、作業環境改善
- ★ 燃費状況の確認、見える化

③ 一般廃棄物排出量の削減

- ・ 文書類の電子化
- ・ 裏紙利用の徹底と印刷時のプレビュー機能利用の周知
- ・ コピー用紙の使い分けの徹底
- ・ ゴミ分別徹底とリサイクルの励行
- ★ マイバッグ・マイボトルの推進

④ 水使用量の削減

- ・ 水を出しすぎないように吐水量を少なくして使う
- ・ 水は出しっぱなしにせず、こまめに止める
- ・ 食器はため洗いし、洗剤も使いすぎない
- ・ トイレは大小洗浄の切り替えをきちんと使い分ける

⑤ グリーン購入の推進

- ・ エコマーク等、環境に配慮した製品の積極的購入
- ・ エコ商品への代替調査（比較検討）

⑥ 地域貢献活動の推進

- ・ 足摺岬公園線の清掃活動（遊歩道清掃、瓶・カン拾い）
- ・ 会社周辺の清掃（除草、清掃）
- ・ 地域ボランティア活動への参加

備考：★印は次年度追加活動です



現場

担当 永野 和也
高橋 弘樹

① 化石燃料使用量の削減（ガソリン・軽油・灯油）

- ・タイヤの空気圧の確認、車輛管理（オイル交換）
- ・アイドリングストップとエコドライブの徹底
- ・夏場のエアコン使用を控える
- ・冬季重ね着工夫の励行、作業環境改善
- ・過積載の防止、車輛の中に不要な荷物は積まない
- ・社用車使用時の乗り合わせの励行
- ★急発進・急加速の回避、エンジンブレーキ利用
- ★重機の定期整備、日常点検の徹底
- ★重機のエコモード運転と効率的な空中動作
- ★移動ルート効率化と燃費チェックの習慣化

② 産業廃棄物排出量の削減

- ・マニフェストの管理、保管、適正処理の確認
- ・分別解体の徹底による再生資源化
- ・工事資材のロスをなくす

③ 水使用量の削減

- ・節水の周知徹底と啓発活動（ポスター作成・貼付）
- ★蛇口の閉め忘れチェックと漏水の定期点検
- ★手洗い水量の適正化
- ★工事に自然水（河川水等）利用
- ★洗車はバケツや高圧洗浄機を利用

④ 地域貢献活動の推進

- ・足摺岬公園線の清掃活動（遊歩道清掃、瓶カン拾い）
- ・会社周辺の清掃（除草、清掃）
- ・地域ボランティア活動への参加

⑤ 環境配慮工事の推進

- ・工事施工場所の周辺環境の状況把握
- ・環境負荷の少ない仕様（材料・構造・工法）を採用する
- ・建設機械等は低騒音・低振動・排ガス対策型機種を選定する
- ★作業効率の向上、施工日数の短縮
- ・型枠・工事看板への間伐材の使用
- ・すべての人が安心して親しみの持てる公共工事の実施

備考：★印は次年度追加活動です



12

環境関連法規などの遵守状況 の確認及び評価の結果並び に違反、訴訟の有無

ecoaction21 report

(法規制等の名称)	(適用内容・遵守事項)	(遵守状況)
■廃棄物処理法	・収集運搬業者及び処分業者との委託契約締結 ・委託契約書の保管 ・マニフェストの管理、保管（5年間）	○
■建設リサイクル法	・発注者への計画説明と完了報告 ・分別解体 ・再生資源等の促進 ・再生資源の利用	○
■建設廃棄物処理マニュアル	・マニフェストに基づく適正処理の実施	○
■建設副産物適正処理推進要綱	・発注者との連絡調整、管理及び施工体制の整備 ・実施状況の記録保管	○
■排出ガス対策型建設機械普及促進規程	・排出ガス対策型であることの確認	○
■騒音規制法	・特定建設作業の実施の届出	○
■振動規制法	・特定建設作業の実施の届出	○
■大気汚染防止法	・第18条十五 特定粉じん排出等作業の開始の日の14日前までに 知事 へ届け出る	○
■フロン排出抑制法	・第5条 第一種特定製品 冷媒としてフロン類が充填されている 機器の点検の実施、漏えい防止措置、漏えい量の報告、整備時の充 填・回収委託、廃棄時のフロン回収の徹底	3か月に 1回
■建設工事公衆災害防止対策要綱	・付近住民等への周知 ・埋設物の確認 ・排水処理、地盤沈下等の処理 ・騒音防止の措置	必要時
■消防法	・少量危険物の貯蔵取扱届出	必要時
■浄化槽法	・設置等の届出 ・浄化槽管理の業務 ・定期点検	年1回
■地球温暖化対策推進法	・国、地方自治体、事業者、国民が一体となり温室効果ガスの排出 抑制に努め、国・地方自治体の対策に協力する	毎日
■高知県環境基本条例	・事業者の責務 (公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理)	必要時
■土佐清水市廃棄物の処理及び清掃に関 する条例	・投棄の禁止	必要時



当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありません。

作成日 令和2年7月1日
作成者 永野 友香
承認 永野 秋夫
照査 永野 和也

代表者による全体評価と見直し・指示

見直し
関連情報

項目	確認	評価・コメント
1 エコアクション21文書	レ	環境経営方針は、課題とチャンスを経営的視点で見直し、反映させた。
2 環境経営目標及び目標達成状況	レ	未達成のものは次年度積極的に取り組みたい。
3 環境経営計画及び取組実施状況	レ	全員参加で活動できました。
4 環境関連法規遵守状況	レ	違反、訴訟及び外部からの苦情・要望はありませんでした。
5 内部・外部コミュニケーション対応記録	レ	内部コミュニケーションを実施しました。
6 問題点の是正・予防処置の実施状況	レ	是正処置を実施しました。
7 その他（ ）	レ	ありません。

変更の
必要性の
判断

見直し項目	変更	「有」の場合の指示事項等
1 環境経営方針	無	変更ありません。
2 環境経営目標・計画	無	変更ありません。
3 環境経営計画・取組事項	有	次年度も活動計画を見直し、取組事項を更に充実させること。
4 実施体制	無	変更ありません。
5 環境経営システム	無	変更ありません。



総評 代表取締役 永野 秋夫

従来のレポートが刷新され、数値のグラフ化や、CO₂総排出量の推移及び内部コミュニケーションに状況写真が添付され、活動状況が分かりやすくなった。今年度、ガソリン使用量が65%と目標未達成。現場への長距離移動で燃料効率が悪かったことが原因のため、今後、燃料効率の良い車の購入を検討していきます。

また、ICT導入についても前向きに考え、効率的な作業で無駄をなくし安全かつ労働時間・燃料代の削減につながるよう、協力していきます。

環境にやさしい工法を今後も積極的に採用し、地域社会の安心・安全な暮らしを守りながら、新技術の活用実施等を遂行していき、社員一人一人が誇りをもち、働くことができる会社、地域の方々にも信頼される企業を目指していきます。



Photo: 災害復旧工事

CONTENTS

SPECIAL FEATURE

27 特集 環境活動の取組

28 トピックス 表彰とコミュニケーション

29 NEWS によど新聞2020

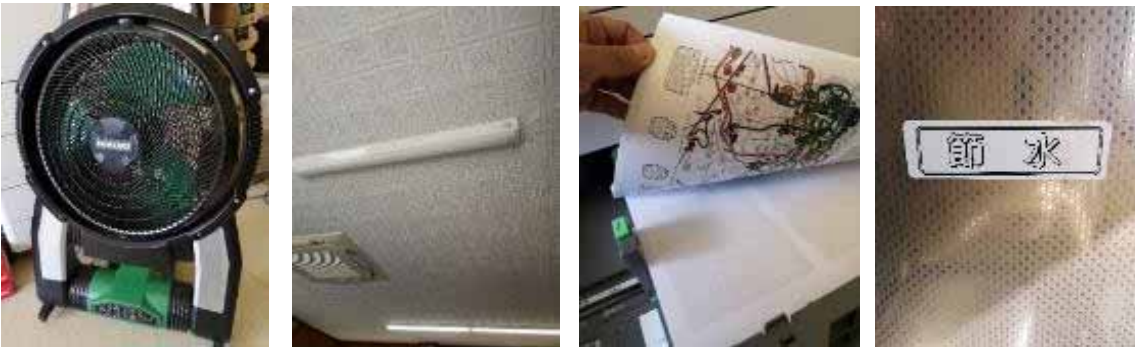
30 SDGsを考える

現場の取り組み



現場にお遍路さんへの休憩所を設置しました。夏場だったので熱中症対策で塩飴を置き、お遍路さんにも食べてもらえるようにしました。トイレ貸し出し等のおもてなし、分別ごみ箱の設置、間伐材使用看板使用、お花も置きました。こまめな清掃できれいな現場を心がけました。

事務所の取り組み



扇風機活用

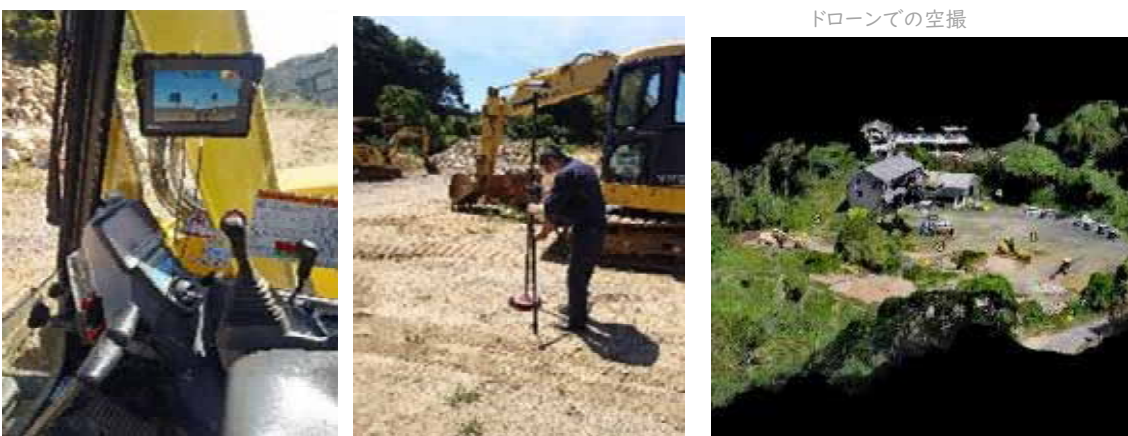
照明間引き

裏紙利用

啓発活動

こまめな照明消灯を心掛け、間引き点灯も実施しました。扇風機・サーキュレーターを活用し、暖房効率改善、節水の啓発活動で周知徹底、裏紙利用の強化は一般廃棄物削減成功に繋がりました。

環境教育



ドローンでの空撮

2D・3Dガイダンス講習会を行いました。施工の無駄を減らして安全かつ労働時間や燃料代の削減が期待できることから導入の検討を考えています。安全を超える安心を提供し、常に新しい技術を提案していくために、社員全員で今後も環境改善に取り組んでいきます。



優良工事表彰状
(高知県土木管理技士会)

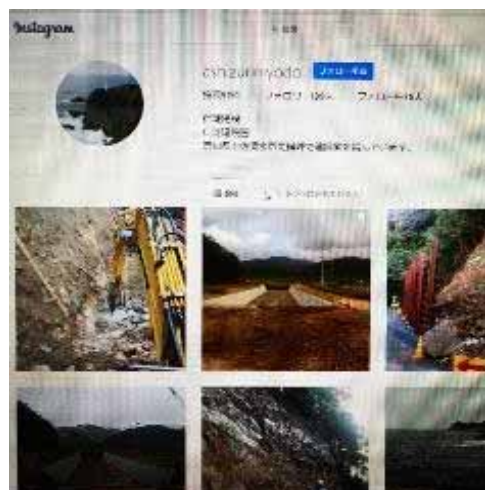
寄付感謝状
(ですかでゴー)

従業員や家族をがんから守る
優良事業所認定書

毎年協力している自然保護団体への支援、今年度も感謝状を頂きました。また、現場での施工管理に対して評価頂き、優良工事として表彰状もいただきました。健康経営推進で、社員の検診受診率80%を達成し、優良事業所として高知県より認定されました。

コミュニケーション

仁淀建設(有) Instagram



<https://www.instagram.com/ashizuriniyodo?r=nametag>

仁淀建設(有) facebook



<https://www.facebook.com/ashizuriniyodo>

facebook、Instagramを開設し、外部とのコミュニケーションに活用しました。工事状況やイベント情報などを発信し、会社PRを行っています。

また、地元の足摺岬小学校の安心メール協賛事業所として、子供たちの安心・安全を見守りながら地域との連携を図り、地域貢献&会社PRも行っています。



あしずりみさき

ヤブツバキ再生プロジェクト

足摺岬に自生するヤブツバキの林を自分たちの手で取り戻そうと、地元の小学校の生徒が取り組んでいる活動に参加させてもらい、採取して育てた苗の植え戻し作業を見させていただきました。

つるはして耕し、マルチングを敷いた広場に植えていくのですが、ヤブツバキだけを増やすのではなく、景観になじむように多様な植物と一緒に植えるそうです。今回は、ハマヒサカキ、トベラ、マサキ、ツバキの4種類をバランスよく植えていきました。立派な林になってね😊

地域の環境について考え、体験や学習を通して、自然を守る大切さを学んだ子供たちと共に、足摺岬の豊かな自然を次世代につなげていきたいと思っています。



環境省の方に教えてもらいます



穴に水をたっぷりとかけます



土を被せ、しっかり押さえます



スコップで穴を掘って肥料を入れます



苗を選び、穴にいれます



完成!

大きくなあれ(^^)/

SDGs

地球のために、
会社で今日から
できること。



健康診断… すべての職員の健康を推進するために、健康診断を定期的に受診し、従業員や家族をがんから守る優良事業所として認定されました。

資格・免許取得のサポート… 従業員のレベルアップのための資格取得をサポートすることで、人としての資質の成長・向上に繋がっています。

社内環境… 熟練も若手も、誰もが隔たりなく発言ができる環境作りを行っております。話を聞くことで、従業員の意欲向上・能力発展に結び、働きがいのある会社を目指しています。



インフラの強靱化… 公共工事の受注及び施工に携わり、河川改修工事・道路工事等様々な建設事業を通じて、日々の暮らしに関わる様々な産業や生活基盤を造り、社会貢献していきます。

BCP活動… 危機管理マニュアルを策定し、緊急事態にも対応可能な会社作りをしています。

環境負荷低減… 建設現場で使用している機械は環境に配慮した低騒音・低振動・排ガス対策型機種を選定しています。また、工事現場で発生したコンクリート、アスファルト等、再利用可能なものは、リサイクル率の向上に努めています。

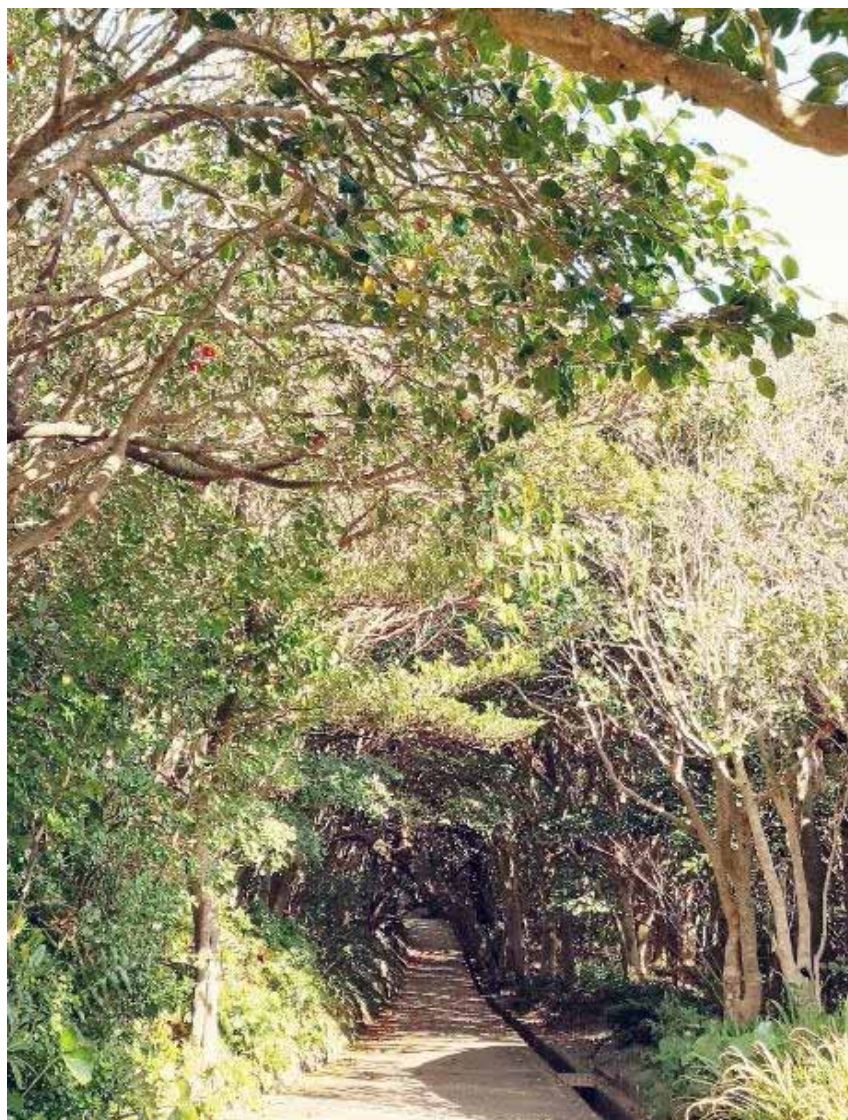


エコドライブ… アイドリングストップやふんわりアクセル等、環境に配慮したエコドライブの意識向上を図り、排気ガスの削減を行うことで、環境汚染を防いでいます。

清掃活動… 地域ボランティア活動へ参加しています。除草、清掃、瓶・カン拾い等を行い、地域とともに環境保全活動に取り組んでいます。

SDGsへの取組… 建設業を通じて、人々の安心・安全で快適な暮らしを守り、今ある豊かな自然環境を次世代へとつなげる街づくりを、社員全員で行っていきます。

to be continued



ご精読いただきありがとうございました。
次年度も目標達成に向けて頑張りたいと思います。

笑顔つなぐ 明日をつくる 仁淀建設有限会社